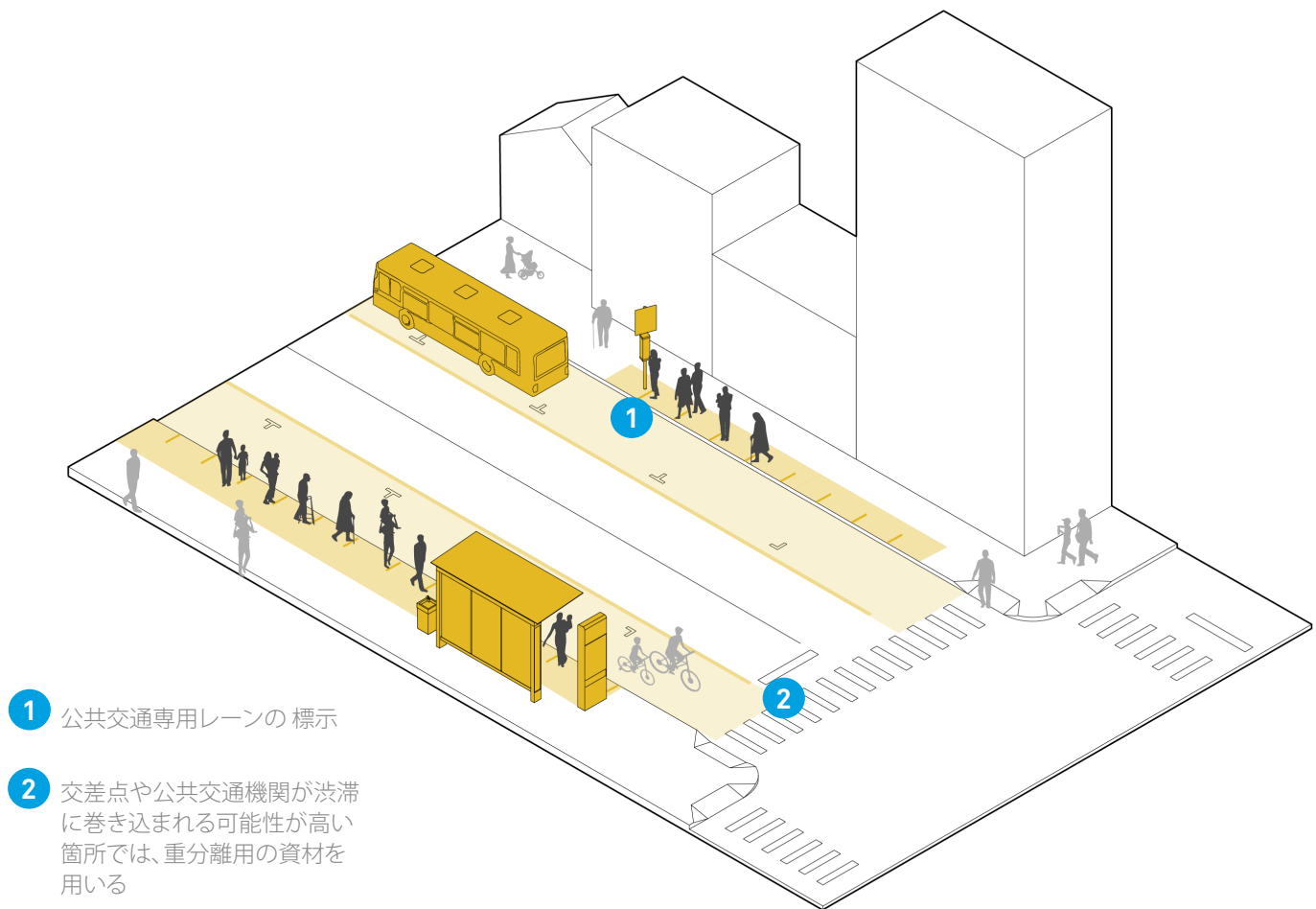




公共交通限定レーン/公共交通優先レーンを設けるまたは拡大し、路上の公共交通を最も要する人々にとって、定時性の高い効率的な交通手段とします。

即地的状況

- 公共交通利用者数が多い通りおよび経路において、公共交通機関に依存するコミュニティや生活必須職/サービスを支える。

鍵となる手段

- 路肩駐車帯または車両車線を、路上の公共交通レーンに転用する。
- 公共交通レーンの指定にあたり、車線標示、規制標識、利用可能な場合は電子標識、トラフィックコーンなどの垂直要素を用いる。

実施計画: 計画には数週間、実施には数日間/数週間。

期間: 数ヵ月間から2〜3年間。



出典: ボストン市

米国・マサチューセッツ州・ボストン

MBTAはワシントン通りにオレンジ色のトラフィックコーンを使用した仮設車線を設置して、後に、新たな常設バスレーンを設けた。

計画

- ・ 公共交通に依存するコミュニティや、公共交通需要が高い箇所に対し、公共交通レーンや公共車両優先信号などによって、経路を優先して、改善する。
- ・ 公共交通が遅延する原因として知られる交差点や、移動パターンの変化に基づいて新たに出現したピンチポイント周辺に重点的に介入する。
- ・ 過密が原因で乗車できない状況が頻発している場合、救援車両の設置場所を特定する。
- ・ 必要に応じて標識、信号、標示を変更し、転向時の重大な交錯を低減する。
- ・ 駐車、縁石へのアクセス、荷捌き区域の撤去を生活必須事業への影響を最小化して検討する。
- ・ 速度と遅延時間に基づいて最も重大な区間を特定する。それらの車線延長距離は1街区という短いものから数マイルといった長いものまで含まれる。

連携

- ・ 公共交通支援団体、近隣団体、大企業など、既存の通信網やソーシャルメディアのチャネルを活用する。
- ・ 車内、停止線、オンライン、ニュースレターなどで変更点を公表し、フィードバックを募る。
- ・ 初期から、目標をメッセージとして伝え、現状の実績に焦点を合わせ、将来の交通状況や公共交通利用者数の変化を通知する。

設計 + 実装

- ・ 測量して標示し、営業時間を示す標識を追加する。
- ・ トラフィックコーンおよび/またはトラフィックバレル、視線誘導柱を設置するか、「バス専用」標示を塗装する。
- ・ 可用性と資材に応じて、標識は独立式あるいは道路情報板の場合がある。
- ・ 復興計画では、資材を一時的なものから恒久的なものへと改良する。[公共交通街路設計ガイド](#)を参照する。

モニタリング

- ・ 重要な基準：乗降客数、混雑状況、移動時間のデータを収集し、運行実績に合わせて調整し、公衆衛生上の指針にも合わせる。
- ・ 公共交通レーンでの自家用車の停車、駐車、走行を防止するために、駐車や交通制御担当者と調整する。実装開始に合わせて注視する。



出典：SFMTA



出典：オークランド交通

米国・カリフォルニア州・サンフランシスコ

SFMTAは、中核部のネットワークを優先し、生活必須職従業員向けの公共交通の実績を高める改善を始めた。

ニュージーランド・オークランド

オークランドはクイーンストリートに新たなバス停と公共交通レーンを設けた。